

採れたて!!

# わかごぼう一コマ

No.95

発行 2022年2月  
八尾市パーソナルサポートセンター  
大阪府八尾市本町1-4-1-201  
TEL:072-999-7900

## やつてみた事は経験値になる

日向は温かく日陰は寒い、そんな北風と太陽がアメとムチを上手に使ってくる一月の終わり。畠の解体作業を手伝いに行ってきました。

解体作業を依頼した方のお父さんは貸農園を利用していたようなんですが、「高齢」という事もあり畠を返却することになったらしく、返却するにあたって畠の上に置かれている設置物や杭、ネット等を自分たちで処分してから返さないといけないので、その作業をわかつぼうメンバー達と手伝うことになりました。

当日、現場を見てみると畠の面積はそれほど広くなかったのですが、上部に張られたネットやネットを支える杭、杭にネットを結ぶための紐などが所狭しと張り巡らされており「ミッションオノポンポッショブル?」と思ったほどでした。そんなスタッフの面白はさておき、これらすべてを解体することが今回のミッションです。初めて枯れた蔓から零れ落ちるミニトマトやナス、ピーマン等の残り物を拾い集める作業から開始です。杭と杭の間にネットが張り巡らされているため中心に落ちている残骸を拾っているメンバーは膝に土をつけながら一生懸命拾っています。次に複雑に絡んだ枯れた蔓を

ハサミで細かくしながら解いて除去します。二つの作業を終えた時点で開始から四十分を超えていたので一度休憩を挟みます。

休憩中、農園の利用者さんと少しお話すことができました。お話を聞くと依頼された方のお父さんは一番最初に農園を利用された方らしく、長年に渡つて毎日農園に来て作物のお世話をしていたので「最近顔が見られなくなつたから心配していた」との言葉が頻繁に出でてきました。これが社会と繋がるという事なんだなと実感した一幕でした。

前半に残り物を処理したので、後半は設置物の解体作業に入ります。杭と杭が針金で止められているのでベンチを使って針金を外していくのですがこれが中々、力がいるのです。雨風に晒されて錆びた針金や何重にも捩じられた針金を一つ一つ外していくますが、段々と握力がなくなってしまいます。日も落ちてきて日向がなくなり寒さで体力精神力も削られます。最後は撤去が先かメンバーのギブが先かのダメージレースの様相を呈していました。このレースは何とかメンバーが勝ち、無事に解体作業は終わりました。最後に、この日手伝ったお礼としてショーケースをもらいました。一日の感想を話し合

いながら居場所に戻りこの日の活動は終わりました。メンバー達は自分たちの頑張りが目に見えて分かり、手伝つた感謝をしてもらつ。疲れはしたけど、とても充実した一日だったそうです。



地域との交流  
素晴らしい事です

甘美な体験

わかごぼうは

## 失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけたい。  
でもいきなりは不安。お話できなくて一緒に過ごしてみよう。

失敗しても構いません。そこからたくさんのこと学べるから。



## ☆参加対象になる方

- ◇社会参加を望みながら不安を感じている方
- ◇これからの自分を考えたい

家族以外の人との関わりが薄い方

※また、その方のご家族・親族の方も

ご相談いただけます。

(込み合う場合がございますのでご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいのかわからない。  
そんなあなたに応えるための社会的居場所です。

お問い合わせ & 参加申込み  
電話: 072-992-6921

E-mail: wakagobou@yaops.jp

電話受付時間: 9:00-17:00 (祝日除く月~金)

自分のペースで  
参加できます。

八尾市社会的居場所事業  
わかごぼうに  
来ませんか?



開催時間: 毎週木曜日 14:00-16:00

開催場所: わかごぼう

八尾市南本町7-6-23

※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨



# 行きつづく先は心理戦

雨が降り、一層寒さが厳しくなると気分も落ち込みます。

居場所に来ることも雨が降つて

いると「今日は行きたくない」と感じることもしばしば。

それは参加者たちも同じで、この日は居場所にお休みの電話が入り参加メンバーは一人だけでした。

参加メンバーが一人だと出来ることも限られています。そんなトランプで7ならべをして遊ぶことにしました。

ゲームだとスタッフの僕は思つていません。なぜなら僕がそんな戦法を取り

た。参加メンバーは一人だけでした。

居場所にお休みの電話が入り参

ります。なにかが悪いを徹底して参加者に

止めるバスを使い、あれよあれよとい

う間に女子二人はもうバスが出来ない状態に。後はドボンさせるだけと思つていましたが、追い込まれた二

人とも協力しているのではどうほ

ど、二人だけでカードを出し合つて

います。

僕も出せるカードがなくなつてパ

スを続け、もうバスできない状況に。(△4がでないと僕はドボン...) 出

されたカードは「△10」負けまし

た。僕が一番最初に負けました。

2月3日、豆まきをして鬼を追い

出したはずだったのですが、まだ鬼

がここにいました。

# 世代で変わる、鬼と言えば

今年の一月から息を吹き返したように猛威を振るつて新型コロナウイルスオミクロン株。

大阪だけでも一日の新規陽性者が一万人を超えている勢いです。今回流行っているオミクロン株、

高い感染力を持っていますが重症化リスクが低いとの報道がなされています。ですが手指の消毒と換気、帰宅後の手洗いうがいを徹底して参加者に

感染者が出ないように居場所を開催しています。話は戻りまして、そんな最中ですがわかごぼう

を開催しました二月三日。この日は町中に居場所を追われた鬼があふれる時期です。居場所活動をするにあたり居場所に入り込もうとする邪氣を払うため、豆まきをせねばなるまいと思ひ豆まきを行つ事に。残つた豆は福茶を作り体の中からも鬼を追い出し、今年一年の無病息災を願います。

ちなみに、皆さんは福茶と言うものを存じで

しょうか?筆者はまったく知りませんでした。

福茶と言うものは福豆(まめまめしく働く)

昆布(よろこぶ)梅干し(おめでたい松竹梅)

というなんとも日本人が好きそうな縁起物を湯呑に入れてお湯を注ぐだけの簡単な物なんだそです。

それに、節分では年取り豆という自分の年齢十一の豆を食べる習慣があるのですが、ご高齢の方は自分の年だけの豆を食べるのが難しい。

そんな時福茶を作り飲むことで同等の効果を得られる?らしいです。

## ●やつてみて

節分に福茶を飲む習慣があると何となく知つ

はいましたが、自身は今日が初体験。

まず一口。これは普段飲んでる梅昆布茶に味

がとても似ていると思いました。でも、福豆の香

ばしい味が加わって、普段の梅昆布茶よりも格段においしい!昆布の御出汁も程よくて、優しい味。

心が落ち着きました。今年一年、健康に過ごせそうな気がすると言つたら大袈裟でしょうか。

しかし、節分に福茶を嗜む。なんと風流な事でしょ

# ハマるとやばい闇のゲーム

ある日、引退生から「職場の人から麻雀牌をもらつたんやけど、居場所で麻雀やる人いる?」との連絡が来ました。スタッフは一時期、麻雀にハマっていたこ

ともあるので、居場所で麻雀出来るのは面白そうと思いついていたのです。

スタッフ含めた三人でゲームを始めました。まあ大方の予想通り女子陣は純粋にカードを出し続けています。

しめしめと思いつつ場のカードを止めバスを使い、あれよあれよとい

う間に女子二人はもうバスが出来ない状態に。後はドボンさせるだけと思つっていましたが、追い込まれた二

人とも協力しているのではどうほど、二人だけでカードを出し合つて

います。

僕も出せるカードがなくなつてバスを続け、もうバスできない状況に。(△4がでないと僕はドボン...) 出

されたカードは「△10」負けました。

2月3日、豆まきをして鬼を追い

出したはずだったのですが、まだ鬼がここにいました。

●やつてみて

来月は、イメージを現実に「オリジナリティーワッフル作り」薄さにこだわるトルコ菓子「バクラヴァ作り」ルールを覚えて実際

に遊んでみる「初心者麻雀講座」出来る?出

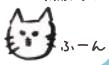
来ない?「居場所でコンポスト作り」等を予定しています。もちろん、いつものボランティアやテーマトークもありますよ。

みんな似ている。ひとりはよくなつ

つながる力を身に着けよう。社会的居場所

# わかごぼうニュース編集

わかごぼうでは、毎月参加者が企画した活動内容を参加者自身でコンテンツにしたニュースを編集して発信しています。



是非次号もご覧ください



各イベントは天候や参加人数により延期や中止の場合があります。